

人権・ひとこと

2024年11月30日(土)・12月1日(日)の二日間にわたって第75回全国人権・同和教育研究大会が熊本県・福岡県・鹿児島県の三県を会場として開催された。私は、両日とも熊本市民会館シアーズホーム夢ホールの特別分科会4講座に参加した。その中の一本の講座について書いてみたい。

「来民開拓団の「真相」に学ぶ ～差別は誰の問題か～」

「部落があるから差別がある」という考え方は今もある。この考え方が引き起こした満洲開拓団の理不尽な悲劇を詳細に語った講座だった。

来民(くたみ)開拓団とは、来民町(現山鹿市)から中国東北部に入植した開拓団で、1945年8月17日に集団自決させられた。その事実を町に伝え知らせるため生きて帰された一人を残して、老若男女問わず(もちろん乳幼児も)団の276名全員が亡くなった。兵庫県の高橋村(現豊岡市但東町)でも敗戦を知り、集団自決を強要され、数人を残して全滅したことは学んでいたが、来民開拓団の場合は高橋村の分村移民と違って、戦前の融和事業による移民と教えられ、差別の闇の深さに暗澹たる思いがした。差別の根源がすべて当事者にあるという考えのもと、来民町民を満洲へ送り込み、地区そのものを消滅させようとしたというのだ。

「子どもたちを厳しい差別の嵐から守りたい。自分たちと同じ思いを味わわせたくない」という親たちの熱い願いが海を渡らせた。しかしそこに待っていたのは、国による、関東軍による棄民だった。満洲開拓団のものが国策による著しい人権侵害だった上に、部落差別が重ねられていた。この事実を決して埋もれさせてはならない。

「ハンセン病患者がいなくなれば問題は解決する」という妄信を金科玉条に強制絶対隔離を続けてきた結果はどうだろう。完全に治癒し、かかる方も全くないと言っていい状況下にあっても家族賠償受給対象者の4割ほどしか申請がないという状況が、前述の考え方が見当違いで誤っていることを物語っている。

あらゆる差別は差別される側の問題ではなく、差別をする側の問題であることをしっかりと踏まえ、私自身が差別をする側になるおそれがあることを常に自覚しつつ、今を真摯に生きていこうと考えた大会だった。

尼崎市人権・同和教育研究協議会 副会長 山本育子

・編集後記・

近年、子どもたちの人権意識は高まりつつありますが、一方で、学校や地域社会における多様性の理解はまだ十分とは言えません。全ての子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保することは、現代社会における重要な課題の一つです。「子どもの居場所づくりは、学校だけでなく、家庭や地域社会全体で協力して取り組むべきである」と考えます。これからも学校と家庭と地域が協力して、子どもたちが安心して過ごすことのできる環境を作っていきたいと考えています。

【編集委員】 山本 育子 高品 玲 時水 健一郎



尼同教では、団体会員・個人会員を随時募集しています。

お気軽に事務局までご連絡ください

TEL/06-4950-0405 (社会教育課内)

Eメール/ama-syakaikyoiku

@city.amagasaki.hyogo.jp

■発行 尼崎市人権・同和教育研究協議会
〒661-0024 尼崎市三反田町 1-1-1 社会教育課内
TEL/06-4950-0405 FAX/06-4950-5658
E-mail/ama-syakaikyoiku@city.amagasaki.hyogo.jp

人権・同和教育実践研究大会—1月16日(木)



深刻な尼崎のアスベスト被害

【報告】 飯田 浩 (尼崎労働者安全衛生センター)

講演会

講師に飯田浩さん(尼崎労働者安全衛生センター事務局長)をお迎えし、「深刻な尼崎のアスベスト被害 “クボタショック”から20年」とのテーマでご講演いただきました。

尼崎のアスベストによる中皮腫発症の被害の実態を、具体的なデータでわかりやすくお話いただきました。中皮腫という病気はアスベストを吸って何十年もたってから発症することもあるので、因果関係を証明するのが難しいが、当事者と共に頑張って補償を勝ち取っているとのことでした。

そして、アスベストが非常に怖いものだということ、日本の規制が遅かったために未だに救済されていない患者がいること、これからはアスベストを含んだ建物の解体が非常に心配だということをぜひ知っておいてほしい、と締めくくられました。

また、自身がアスベスト患者である西中秀夫さんと、アスベスト患者と遺族の会 共同代表の平地千鶴子さんにもお話しいただきました。

※講演の内容は、年度末発行の「尼同教この1年」に掲載予定です。

分科会

熱い議論が繰り広げられ、充実した分科会となりました。

専門部	発表テーマ	報告者
就学前教育部	ごっこ遊びを通じて育む人との関わりと遊びの質の高まり ～やってみたい!おもしろそう!子どもの主体性を大切にする保育士の関わり～	芦田 久美子(水堂保育所) 栗原 悠斗(水堂保育所)
小学校教育部	潮小学校人権教育の取組について	渡邊 由香(潮小学校)
中学校教育部	大庄中学校における人権教育の取組について	高木 真穂(大庄中学校)
社会教育部	再犯防止に向けて 再出発を見守る社会へ!	東 洋(尼崎市保護司会)

CONTENTS

- ・子どもの居場所づくり… 園和小学校区取組
- ・「人権・ひとこと」… 尼同教 副会長 山本 育子 さん



バックナンバーを
ご覧いただけます!



尼崎市 HP のトップページから
ページ番号 **1011854** でご検索ください。